

快適なスライド作り



Google Slides でスライドを作ってきたが、管理しづらいと思っていた

つらみ

- 誤りがあったときに編集→ PDF 変換しなおす手間がかかる。（閲覧が便利なので PDF で保存している）
- スライドがあちこちにバラバラにあって、どこかにいってしまう

これらを解決したい

そもそもなぜスライドにするか？

なぜスライド？

- 読む側が最小限の時間 / 労力で把握できる
 - 読んでもらうためには数分ですぐ理解できなければならない
 - 本を読み通せるのは、作者と出版社の信用と努力があるから
- 制約が生み出す表現の洗練
 - 文字数の制約がある
 - いかに関理して直感的に伝えるか？を考ふるのを強られる

これらを踏まえて、スライドツール
には何が必要か？

スライドツールに求めること

- WYSIWYG ができる
 - 画像の再配置/縮小拡大をやりたいから
- 再編集しやすい
- コマンドラインでPDFにエクスポートできる
 - スライドを変更するたびに再エクスポートを手動でしたくない
 - PDFは配信に便利である
- 元データをローカルに保存できる (Git管理できる)
 - コマンドラインやCIを自由に設定できる
- Linuxから利用しやすい
 - 使用マシンがLinuxだから

これらを満たすアプリケーション：

- LibreOffice Impress
 - オープンソースのスライドツール
 - コマンドラインで変換などが使える

作成から公開の流れ

1. スライド作成、保存 (ODP)

※ LibreOffice の標準フォーマットは ODP

2. コマンドラインで変換 **\$ libreoffice --convert-to pdf *.odp**

3. 生成した PDF, 元ファイル ODP をコミット

4. GitHub Pages で PDF ビューワとともに配信

まとめ

- スライド作成を快適に行えるようになった。蓄積していきたい